

## MCT TTT コースの概要

<b>研 修 名</b>	<b>MCT TTT (Microsoft CERTIFIED Trainer Train The Trainer)</b> * マイクロソフト社の認定トレーナーに必要なスキルを学び、修得する研修です
<b>時 間 × 日 数</b>	7時間×3日間 * 標準 10:00~18:00
<b>受講対象の方</b>	・ MCT 資格を修得し、認定トレーナーとして業務に活かすことを目指す方 ・ プロフェッショナル・トレーナーとしての質のよい研修を実施したい方
<b>適切なスキル</b>	MOS2007 (または MCAS2007) ・ MOS2010 に合格している * 合格していると研修で得る内容を高めることができます
<b>研修の形態</b>	6名までの集合研修 * 最低催行人数は基本的に2名以上
<b>テキスト</b>	日経 BP 社 プロフェッショナル・トレーナーへの道 MOT コミュニティ (現 BAL.com)、エイチ・アール・ディー研究所 共著
<b>機材・環境</b>	・ 1人1台のPCを使い、講師用PCの画面をプロジェクターに投影します ・ PCにはOffice 2010がインストール ・ ホワイトボードを使用して意見交換と共有を行います ・ ビデオ収録を行います ・ ビデオ機材、およびビデオ収録したデータを再生する環境があります
<b>担当講師</b>	メイン講師 1名~2名 * BAL.com に所属し、MOT Expert や CTT+を取得している講師です * BAL.com で定期的に開催している勉強会に参加し、より良い研修をめざして講師自身がスキルアップしています
<b>研修の目的</b>	MCTのスキルを仕事で活用しながらスキルアップしていくトレーナーになります * 該当するスキル基準はCTT+の12のスキル評価基準(80%以上)に準拠
<b>研修の目標</b>	・ MCTに必要なスキルを身に付けることの大切さを理解できます ・ 実習で繰り返し演習し、模擬授業(ビデオ収録)に取り入れることができます * 該当するスキル基準は、CTT+の12のスキル評価基準(80%以上)に準拠
<b>評価(ゴール)</b>	前半2日間で学習した内容を盛り込んだ詳細プランを作成し、それをもとに20分間の模擬授業(ビデオ収録)ができたことで目標に達成したと判断します。
<b>研修の概要</b>	<div style="text-align: center;"> <p>プレゼンテーション → インストラクションファシリテーション → 模擬授業 → 仕事への活用</p> </div> <p><b>1~2日目の内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テキストを使ってMCTとして必要な知識とスキルを理解します</li> <li>・ 学習した内容を各演習で練習して身に付けていきます             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各要素に分割して積み上げるように学習を進めます</li> <li>・ 各演習で他の受講者や講師レビューによって相互理解を深めます</li> </ul> </li> </ul> <p><b>2日目の内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修前の事前確認の重要性とコース設計から詳細プラン作成の概要を理解します</li> <li>・ 各自のビデオ収録を行う範囲の詳細プランを作成します             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細プランについて他の受講者や講師のフィードバックから改善点を見出します</li> <li>・ 詳細プランに12のスキル基準を実装するような改善案を考えます</li> </ul> </li> </ul> <p><b>3日目の内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約20分間の模擬授業のビデオを収録します</li> <li>・ 収録内容の自己評価・他の受講者および講師の評価をもとに振り返りを行います</li> </ul>